

令和5年 3月13日 10:00

石川県金沢城調査研究所

担当者 滝川・西田

直 通 223-9696

## 金沢城の石垣構築技術の復元的研究に係る鍛冶作業の現地説明について

### 1. 趣 旨

金沢城調査研究所では、金沢城の石垣構築技術に関する調査研究を深めるため、令和4年度から石垣構築技術の復元的研究に着手しました。

当研究は、石材の製作から運搬・設計・施工まで、石垣築造の各工程で行われていた各種の技術・技能について、城内の石垣に残る往時の作業痕跡や文書記録等を手がかりに、使われていた道具や作業方法等を具体的に復元しようとするものです。

今年度は「矢割技法」をテーマに、往時のノミとヤを対象として、鋼材から鉄道具を復元製作する鍛冶作業を進めており、今般、報道機関向けの現地説明を行います。

### 2. 日 時

令和5年3月16日（木）

午後2時から4時まで（雨天でも開催）

### 3. 会 場

金沢城公園 北ノ丸園地 仮設テント内（下図参照）

### 4. 内 容

鍛冶作業によるノミとヤの復元製作について、金沢城調査研究所の職員が説明します。





石垣に残る矢穴 矢割が完了し、矢穴は分割された状態  
【尾坂門】



石垣（未製品）に残る矢穴 矢穴を掘る作業が中断・  
停止した状態  
【いもり堀園地（キゴ山石）】



ノミ・ヤ（矢）の模型 石垣に残る矢穴から形状を推定し、  
他城郭出土品等も参考にしつつ製作  
鉄製品復元製作のための見本

ノミ・ヤの用途 現代に伝承されている技術を実演



ノミで矢穴を彫る



ヤ（矢）



矢穴にヤ（矢）を入れたところ



ヤ（矢）の頭を玄翁（げんのう：ハンマー）で叩き込み、石を割ったところ